

第1回 中央委員会

～2013年度第4四半期会計決算並びに監査報告、定期大会に向けて議案の確認がされた～

八月二十二日(金)十四時からアークホテル京都において、京交第一回中央委員会が開催された。冒頭、瀬戸執行委員長から日頃の組合活動への感謝が述べられた後、①広島や福知山の災害について②給与制度見直しについて述べられた。福知山に災害ボランティアとして青年女性委員が参加しており、京交のフットワークの軽さと組織の繋がりに改めて感謝を述べられた。給与制度見直しについては、秋闘に向けて市労連交渉が鍵となるため、今後の交渉に注視したいと述べられた。次に、自治労関係では、第十一回執行委員会報告がされ、①活動報告について②給与報告の骨子について③地域手当の指定基準について報告された。対局関係では電車、バスのイベントについて報告され、団体交渉報告では、平成二十五年度決算報告がされた。その他に、連合京都京都市地協のクリーンキャンペーンについての説明があり、続いて、三支部が行ったエンパワメント活動報告がされた。議案事項に入り、二〇一三年度第4四半期会計報告並びに監査報告が確認された。次に第八十七回定期大会に係る議案が確認された後、組合職員の雇用更新及び、福利厚生助成のあり方について確認し、最後に京交レクリエーション内容を全員で確認した。八月から新年度がスタートしており、今後もより一層、京交組合員のモチベーション向上に繋がる制度の確立のため引き続き労働運動を展開することを確認し、また、第八十七回定期大会の成功を祈念し、第一回中央委員会を締め括った。



西賀茂支部エンパワメント報告



東西線乗務支部エンパワメント報告



本局支部エンパワメント報告



瀬戸高志 執行委員長



京都交通労働組合
 電話(075)841-0948
 発行者 瀬戸高志
 編集者 梅田涼

各種委員会レジメ

2014.8.1
京交組合本部

第1回 執行委員会

報告事項

1. 自治労関係
 - (1) 人事院勧告を巡る状況について(別紙)
 - (2) 人事院勧告に係る全国統一行動の実施について(別紙)
2. 対局関係
 - (1) 2013年度決算概要について(別紙)
 - (2) 地下鉄烏丸線のダイヤ改正について(別紙)
 - (3) 「全国一お客様サービス実践プロジェクトチーム」の活動について(別紙)
3. その他

議案事項

1. 電整支部エンパワメントプランについて(別紙)
2. その他

2014.8.21
京交組合本部

第2回 執行委員会

報告事項

1. 9月日程について(別紙)
2. 自治労関係
 - (1) 第11回執行委員会について(別紙)
3. 対局関係
 - (1) 「地下鉄に乗る」キャンペーンについて(別紙)
 - (2) バスの駅について(別紙)
 - (3) コトチカ山科の開業について(別紙)
 - (4) 第17回地下鉄醍醐車庫見学会について(別紙)
4. その他
 - (1) 連合京都京都市地協クリーンキャンペーンについて(別紙)
 - (2) 本局支部エンパワメントプラン活動報告について(別紙)
 - (3) 西賀茂支部エンパワメントプラン活動報告について(別紙)
 - (2) 東西線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について(別紙)

議案事項

1. 2013年度第4四半期会計決算並びに監査報告について(別冊)
2. 第87回定期大会に係る議案について(別冊)
3. 組合職員の雇用更新について(別紙)
4. 福利厚生助成のあり方について(別紙)
5. 京交レクリエーションについて(別紙)
6. その他

2014.8.22
京交組合本部

第1回 中央委員会

執行委員長挨拶

報告事項

1. 9月日程について(別紙)
2. 自治労関係
 - (1) 第11回執行委員会について(別紙)
3. 対局関係
 - (1) 「地下鉄に乗る」キャンペーンについて(別紙)
 - (2) バスの駅について(別紙)
 - (3) コトチカ山科の開業について(別紙)
 - (4) 第17回地下鉄醍醐車庫見学会について(別紙)
 - (5) 団体交渉について(別紙)
4. その他
 - (1) 連合京都京都市地協クリーンキャンペーンについて(別紙)
 - (2) 本局支部エンパワメントプラン活動報告について(別紙)
 - (3) 西賀茂支部エンパワメントプラン活動報告について(別紙)
 - (2) 東西線乗務支部エンパワメントプラン活動報告について(別紙)

議案事項

1. 2013年度第4四半期会計決算並びに監査報告について(別冊)
2. 第87回定期大会に係る議案について(別冊)
3. 組合職員の雇用更新について(別紙)
4. 福利厚生助成のあり方について(別紙)
5. 京交レクリエーションについて(別紙)
6. その他

- ・一 面・
- ・第1回 中央委員会
 - ・各種委員会レジメ
 - ・エンパワメント活動報告
- ・二 面・
- ・自治労京都府本部 都市公共交通評議会 研修会
 - ・被爆69周年原水爆禁止世界大会・広島大会
- ・三 面・
- ・第7回連合近畿ブロック ユースラー
 - ・京交青年女性委員会 福知山災害ボランティア活動
 - ・文化体育事業
- ・四 面・
- ・教宣部員のつばやき
 - ・ナンプレ
 - ・クロスワード当選者
 - ・Fromみぶ
 - ・都夢ちゃんのひとり言



エンパワメント活動報告

本局支部

二〇一四年七月十六日(水)の午後六時から、京交エンパワメントプランにおける本局支部活動である「祇園祭浴衣で、はんぱんり」おもてなし」を行いました。当日は、総勢三十三名の参加により、京都駅及び烏丸御池駅にて、浴衣姿という涼しげで京都らしい装いで、お客様への心からのおもてなしを行うことができました。今後、多くのお客様に気持ちよく市バス・地下鉄をご利用いただき、活動の一助となることを目指してまいります。

～活動の様子～

東西線乗務支部

慣例となりまして八月八日の「琵琶湖花火大会」において、三条京阪駅と市役所前駅にわかれて、三支部の乗務員が実施しました。暑い中、花火見学の活動されるお客様に、お礼の気持ちを込めて、日頃のご乗車への感謝の気持ちを込めて、「ヒヤロン」を配布しました。当日は花火大会の開催が危ぶまれる程、雨が降っていましたが、多くのお客様に用意した「ヒヤロン」は、すぐにお客様に配布されました。配布後には、お客様に「ヒヤロン」が冷たくなるのを、快く受け取りました。お客様に「ヒヤロン」が冷たくなるのを、快く受け取りました。お客様に「ヒヤロン」が冷たくなるのを、快く受け取りました。

～配布の様子～

～皆で準備～

西賀茂支部

平成二十六年七月一日(火)夏の風物詩となりまして「京の七夕」にちなみ、西賀茂支部組合二十名によるハッピーバス「装飾品の飾り付け」を実施いたしました。ドライブレジャーには、運転の視界を妨げないよう、乗って来られたお客様には「七夕」の作業をしました。出来たお菓子を「七夕」の作業をしました。出来たお菓子を「七夕」の作業をしました。出来たお菓子を「七夕」の作業をしました。

～全員でハイチーズ～

～作業の様子～

自治労京都府本部 都市公共交通評議会 研修会開催 ～京都のまちづくりと公共交通について学ぶ～

2014年7月22日(火) 京都国際ホテル

府本部都市交評による「歩くまち・京都」総合交通戦略をテーマにした研修会が開催された。開会にあたって瀬戸高志京交執行委員長から「『歩くまち・京都』の取り組みは京都の将来のためのものであり、四条通の歩道拡幅や東山地域の混雑解消など今後私たちも協力していかなければならない課題です」と挨拶があった。続いて高橋直樹府本部執行委員長からは「産別統合から一年が経過しました。自治労運動の中で公共交通サービスを担う都市交評に期待しています。また8月に開催される自治研にも積極的な参加をお願いします」と言葉があった。続いて、都市計画局歩くまち京都推進室から参加していた別府正広室長から京都の交通戦略について、①既存公共交通を活用した取り組み、②まちづくり、③ライフスタイルの変化、を柱として進めていることが話された。

そして本題の研修会では、歩くまち京都推進室企画課長の福田敏男さんに講師を務めていただいた。「歩くまち・京都」を実現するためには、脱クルマ中心社会、いかに公共交通を利用してもらうか、行政、事業者、市民が一体となって推進する。目標として「非自動車分担率」八〇%以上を目指す。既存公共交通を活用した主な取り組みとしては、京都駅南口駅前広場整備、交通バリアフリーの推進、京都フリーパス(全国でも珍しい試み)、京北ふるさとバスの現状、雲ヶ畑バス「もくもく号」の現状、歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」などが解説された。次に、まちづくりの取り組みとしては、四条通の歩道拡幅と公共交通



歩くまち京都推進室 企画課 福田敏男課長



都市計画局歩くまち 京都推進室 別府正広室長

優先化、「歩いて楽しいまちなかゾーン」の整備が紹介された。ライフスタイルに関する取り組みとしては、「歩くまち・京都」憲章の普及啓発、アンケート活動、高齢者・転入者を対象としたコミュニケーション、教育現場における指導案、などが報告された。特に、四条通の歩道拡幅に関して、実証実験では烏丸・河原町間の通過に要する時間が現状の五〇%程度の増加というデータが出ている。タクシーや荷捌き場所の問題などクリアすべき課題はあるが、成功させるためには、みんながちよつとずつ我慢する必要があるとの報告だった。

最後に今後の取り組みとして、京都未来交通イノベーション研究機構(仮称)の設置と、リニア中央新幹線の京都誘致について説明された。京都未来交通イノベーション研究機構は産学公を連携して、交通に関する様々な情報を収集・統合し、情報を活用して人と物の安全で快適・効率的な移動に資する技術やサービスを開発するための研究を行う。リニア京都誘致については、現行ルートは東海道新幹線の代替ルート(リニア)を前提としていないもの(であり、最適なルートは国益等も考慮して国家政策として議論しなければならない。京都にとってもリニア誘致の成否は生き残りをかけた問題であり、今が最後の機会と考えて活動されている。

今回の研修会では「歩くまち・京都」総合交通戦略からリニア誘致まで、交通のみならず京都の未来につながる様々な課題・取り組み・施策について学んだ。都市交評では今後も京都のまちづくりのための公共交通について学び、行動していきたい。



～会議の様子～

被爆六十九周年原水爆禁止世界大会・折り鶴平和行進

二〇一四年八月四〜六日、広島市に於いて「被爆六十九周年原水爆禁止世界大会・広島大会」が開催された。メインスローガンは「核も戦争もない平和な二十一世紀に!」「くり返すな原発震災!めざそう!脱原発社会」。京都平和フォーラムからは八名が参加、内二名は京交。

八月四日、折り鶴平和行進。台風十二号が四国に大雨をもたらす中、平和公園資料館前には全国から約二〇〇〇人が集まった。動きの速い雲、暗くなる空を気にしながら、それぞれが旗や横断幕を用意する。十六時十五分、今にも降り出しそうな空の下、平和大通りを平和大橋方向へ、出発だ。「核兵器廃絶」「原発廃炉」、そして「集団的自衛権反対」を訴えるシュプレヒコールと共に。平和大通りから鯉城通りへ、降り出す雨、ビルの切れ目でクルクルと向きを変える風。たまたらず旗竿を縮め、濡れた旗を巻き付け握る。半分は進んだか。激しくなる雨と風。所々、交差点やバス停で警察官から「待て」の合図。ゴール地点は県立総合体育館地下横断通路に入ったところ。たど



～行進の様子～

いく上で何が必要なのか討論を」という挨拶に続き、現地報告として、いわき地方労平和フォーラムの齋藤議長から福島原発の放射能被害について、各地報告として、宮城県から放射能廃棄物の最終処分場について、鹿児島県から川内原発再稼働問題について、それぞれあった。続いて原子力資料情報室共同代表伴英幸氏より「福島原発事故と脱原発社会の選択」と題した基調講演がおこなわれた。



・・・大会会場前で・・・

八月六日広島原爆の日、まとめ集会。平和祈念式典は四十三年ぶりに雨の中で営まれる。まとめ集会は「核も戦争もない平和な二十一世紀を子どもたちに贈るとりくみを全力で」と訴えるヒロシマアピールを採択するとともに、「集団的自衛権行使容認に反対する特別決議」を行い、長崎大会に繋いでいく事を確認し幕を閉じた。

最後に、大会事務局長の藤本泰成氏のまとめ報告より、宮尾節子さんの詩「明日戦争がはじまる」。まいにち 満員電車に乗って 人を人とも 思わなくなった

八月五日、分科会。「脱原子力」「核軍縮」「ヒバクシャを生まない世界に」「ヒロシマ入門」など、テーマ別に七つ開催された。私たちは「脱原子力」に参加。司会者からの「地球全体が、広島、長崎、沖縄、福島への道を歩む可能性は否定できない。私たちが脱原発社会を選択していく上で何が必要なのか討論を」という挨拶に続き、現地報告として、いわき地方労平和フォーラムの齋藤議長から福島原発の放射能被害について、各地報告として、宮城県から放射能廃棄物の最終処分場について、鹿児島県から川内原発再稼働問題について、それぞれあった。続いて原子力資料情報室共同代表伴英幸氏より「福島原発事故と脱原発社会の選択」と題した基調講演がおこなわれた。

自動車部長 山本 保

第7回連合近畿ブロック ユースラリーに参加

二〇一四年七月十九日から三日間、第七回連合近畿ブロックユースラリーが兵庫県篠山市のユニトピア篠山で開催され、実行員として参加しました。今回のユースラリーは、近畿二府四県から地方連合の若手組合員、約一二〇名が集結し開幕しました。主催者挨拶には、連合大阪から友田実行委員長が「参加した経緯は、人それぞれあるとは思いますが、今後の組合活動に活かせるよう積極的にカリキュラムに取り組んで下さい。」述べられました。次に、来賓を代表して同じく連合近畿ブロック大阪から山崎代表幹事が激励の挨拶を述べられ、早速カリキュラムに入りました。カリキュラムでは、あらかじめ決められた班での行動が中心で、初めて出会った仲間と色々な課題に取り組み、親睦を深め様々な職場における問題などを若手の視点から意見交換をし、これからの仕事に活かしていくために活発な議論がされていきました。最終日には、「ユースラリーで感じた事」をテーマに、各班で寸劇(スタンツ)の発表を行いました。全体で三日間の総括を行い終了しました。私自身は実行委員としての参加でしたが、このユースラリーでの色々な経験やセミナーで学んだことを今後の組合活動につなげていきたいと思えます。

青年女性委員長 安田 稔



京交青年女性委員が 福知山災害ボランティアに参加

二〇一四年八月二十二日(金) 自治労京都府本部からの要請を受け、連合京都福知山災害ボランティア活動へ参加してきました。京交から、私と鳥丸支部の木村青年女性委員の二名で参加しました。早速、集合場所の三段池公園から災害地へ移動し活動に取り組みました。私たちが行った活動は、床上浸水一メートル程の被害を受けられた民家の泥撤去と家具の運び出す作業でした。現場の状況は大変酷く、泥だらけで、作業を開始したものの、雑巾で床を何回拭きとっても泥が取れず、根気よく丁寧に拭き続けな

ければ綺麗になりませんでした。その他の活動では、被害にあった家具や、外壁、雨戸などを水洗いし泥を除去する作業でした。残念ながら、昼頃に突然の雷雨が発生し、大雨警報が発令され福知山市災害対策本部から、ボランティア活動中止の指示が出されました。私たちは、仕方なくまだ不完全燃焼でしたが作業を中止しました。現場では、まだまだ、沢山の泥が残っており住まれている方は、大変苦勞をされています。今後このような活動があれば積極的に参加したいと思えます。

青年女性委員長 安田 稔



～被害の様子～



～作業の様子～

文化体育事業 京都水族館&蒸気機関車館見学

8月20日(水)、23日(日)



～8月20日 全員はいハイチーズ～

八月二十日(水)に文化体育事業が行われました。今回は、京都水族館と梅小路蒸気機関車館の見学です。当日は晴天で日差しがきつくと暑かったのですが、約八〇名の家族の方々が参加しました。水族館前に集合し、みんなで集合写真を撮影、後は自由行動でそれぞれの家族が楽しんでおられました。水族館は初めての方が多く珍らしい生き物の水槽では子どもたちが必死に見入っていました。イルカショーでは高いジャンプに歓声が上がり、水槽前では水しぶきをかぶり苦笑いする場面もありました。外に出ると、この春リニューアルされたチンチン電車を列をなしながら体験乗車し大変満足されていました。他に公園内では市電が展示されており、中には「市電カフェ」や売店、休憩場所にもなっていました。この辺りで昼食を取る方や、そのまま梅小路蒸気機関車館へ行き見学される



～水族館での見学～



～機関車の前で～

は、イルカの鳴き声によるパフォーミングや鮮やかなジャンプが繰り広げられるたびに歓声がわき起こって

方と家族との時間を大切に過ごしておられました。今回の企画では、組合員が現地に集合し、それぞれが自由に行動でき解散する方法で行われ、参加された組合員は、集合時間や食事時間を気にせず思う存分、見学ができる良い企画だと感じしました。今後もこうした家族と一緒に参加出来る企画を実施してほしいと思えます。

東西線乗務支部 堂下 直也



～イルカショーの様子～

交通局主催による京都水族館と蒸気機関車館の見学会が開催されました。見学会は二回にわたり開催され、夏休み期間中ということもあり大変な混雑でしたが、多くの方に参加していただくことができました。

水族館では淡水、海水に棲む様々な生物が展示されており、その生態系が学べるように工夫されています。特に巨大なおオサンショウウオが積み重なって潜んでいる姿は圧巻です。またアザラシやペンギンも身近で観察することができ、愛らしい仕草に皆さん見入っていました。イルカショーでは、イルカの鳴き声によるパフォーミングや鮮やかなジャンプが繰り広げられるたびに歓声がわき起こって



～8月23日 全員でハイハイチーズ～

号が汽笛を鳴らして走る姿は大迫力で、子供たちは大喜びでした。また梅小路公園内を走るチンチン電車にも乗車していただきました。年配の方にとっては懐かしく、子供たちにとっては写真で見た市電に少しの時間ですが乗っていただき、その雰囲気を楽しんでもらえたと思います。

その他にも、梅小路公園内には大きな芝生広場やジャングルジムなどの遊具があり、家族で過ごすには最適な場所です。二〇一六年春には京都鉄道博物館の開館も予定されており、ますます楽しみな空間となっていくと思われ、ぜひ梅小路公園で家族や友人と一緒に休日をご一緒してみてください！

電車部副部長 辻井 啓典



～チンチン電車に乗って～

いました。蒸気機関車館では、往年のSLが多数展示され、大人から子供まで楽しめる内容でした。実際に走行しているSLスチーム

教宣部員のつぶやき



五月より、教宣活動に参加して、まず本局支部書記長の石田大士です。今回は、私の特技についてつぶやいてみたいと思います。私は十五年ほど合唱をしています。合唱には、男性と女性が一緒に歌う混声合唱、男性だけで歌う男声合唱、女性だけで歌う女声合唱、子供だけで歌う児童合唱などの形態があり、その中でも、大学在学時から社会人になった今日に至るまで、男声合唱を続けています。

男声合唱は、大きく分けて、高い声のテノールと、低い声のベースから成り立っており、テノールは、高声部のトップテノール、低声部のセカンドテノール、ベースは、高声部のバリトン、低声部のベースという四声に分かれ、音楽を形作っています。

それぞれの役割について説明しますと、トップテノールは、主旋律を歌うパートで、男声合唱における花形です。いかに美しく高音を響かせられるか、いかにメロディックに主旋律を歌いあげられるか。曲の良し悪しはすべてトップテノールの力量にかかっているといっても過言ではないくらい、非常に重要な役割を担っています。

バリトンは、トップテノールでは歌えない低声の主旋律を担うとともに、曲のハーモニーを長調に（明るく、楽しく）したり短調に（暗く、悲しく）したりする決め手の音を担っており、この方向性の違う二つの役割を、曲中自在に使い分けなければならぬ、とても難しく、しかりやりのあるパートです。

最後に、ベースは、前述のトップテノール、セカンドテノール、バリトンのそれぞれの役割が十分に果たせるよう、圧倒的な低音の響きと豊かな声量で、音楽を下から支える土台の役割を担っています。特に低音というものは、高音と違ってトレーニングでは強化できず、産まれた声帯の長さで出せる下限が決まっていることから、ある種才能の塊といった存在です。

以上のとおり、それぞれのパートがそれぞれの役割を十二分に果たすことで、合唱団としてより良い音楽が生み出されます。音楽は瞬間芸術ですから、いくら望んでも全く同じ演奏は二度とできません。だからこそ、一瞬にすべてをかけ、よい音楽を目指します。歌うことが単に楽しむから、ではなく、音楽創りに積極的に携わることの意義と、与えられた役割に対する責任を痛感しながら歌っています。

自分が仕事をすすめるうえでも、同じスタンスで取り組むよう努めています。交通局においては、事務職員、技術職員、保守職員、バス運転士、高速乗務員、駅関係職員など、様々な役割を担う職員が、各人の職域でそれぞれ与えられた職責をしっかりと果たしています。それが、市バス、地下鉄の日々の運行を支え、お客様を安心、安全、快適に目的地までお運びすることの礎となっています。

少しの手を抜くことなく、交通局が最高の公共交通を目指していくために、自分は何をしていくべきか、私たち組合員に何ができるのかを考える毎日です。

本局支部 石田 大士

脳に刺激を！ 超難問？ ナンプレ

「ナンプレ」のコーナーです。ちょっと一息！頭のリフレッシュしてみませんか？左記のマス已全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このナンプレが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。

締め切りは十月三日（金）必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 5 | | | 7 | |
| | | | 2 | 3 | | |
| 7 | | | 9 | | | 6 |
| | 1 | | | | 3 | |
| | 4 | | 8 | 1 | 6 | |
| | 6 | | | | 5 | |
| 4 | | | | 3 | | 8 |
| | | | 1 | 2 | | |
| | | | | | 9 | |

クロスワードパズル 京交677号解答

当選者氏名(敬称略)

佐藤 慶幸さん(電整支部)
池上喜代一さん(電整支部)
板倉 基一さん(電整支部)

ウヨキヨクセツ
ソユウカワダ
セイウンカサイ
ンクンカサイ
ホイクンカサイ
ウキウキカサイ
クベツコカイ

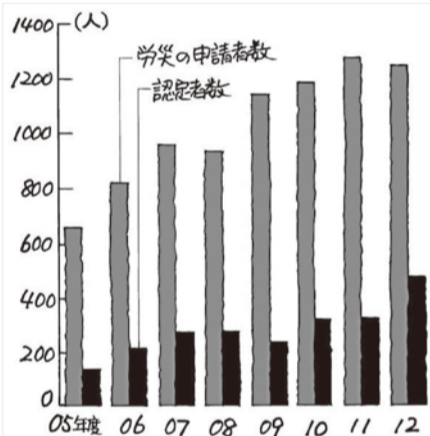
■答えは「ユニットキッチン」

心の病、「パワハラ」などで急増

職場復帰を拒む会社も

上司からの「パワハラ」、同僚からの「いじめ」、そして働き過ぎなどで心の病にかかる人が急増している。二〇一二年度の精神障害関連連での労災認定者は四七五人。三年連続で最多更新だ。

ほとんどの場合、休職や適切な治療で回復する。しかし休職前の元の職場への復帰を拒んだり、職場環境を改善しなかったりという会社側の対応が目につく。心の病を防ぐ体制作りと職場復帰を。企業側の責任が問われている。



Part1 都夢ちゃんの一とり言



「関西では人気がない「シイラ」でもハワイでは高級魚？」

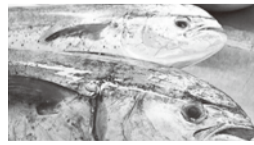
シイラは世界の暖かい海にすむ外洋性の魚です。細長く平たく、背びれが頭から尾の方までつながっている独特の体形をしています。黄緑色にキラキラ光り大きいものだとい・ハメートルにもなる大型の魚です。

シイラという呼び名は、平べったい体形から、実の入っていないみ殻をさす「しいな」から来ているとされます。中国・山陰地方で「万作(まんざく)」と呼ぶのは、「しいな」では縁起が悪いと正反対の「豊年万作」からついた呼び名です。

水温が上がる初夏になると、好物のトビウオ、イカなどの餌を追いかけて日本近海を回遊します。日本の主な分布域は本州中部以南ですが、水温が高い夏場には北海道の沿岸にまで回遊します。そして、水温が下がってくる秋になると南の海に戻っていきます。さらに漁獲されるのは六月ごろから各地で水揚げされます。

シイラは流れ藻や流木など浮遊物の物陰に集まる習性があります。この習性を利用して漁法が「シイラ漬け」です。竹束を筏(いかだ)を作り重りで固定し浮かべておきます。これに集まったシイラを疑似餌などでおびき出し、巻網で漁獲します。このユニークな漁は高知県や九州、山陰などの各地で行われています。このユニークな三十年も前の景色ですが、この時期の卸売市場はシイラとカツオで足の踏み場もない日がありました。

淡泊な魚で関西ではハマチやブリの代用品として利用されます。お造りやカルパッチョのほか、フライ・ムニエルにしてもよく、身が柔らかい魚です。焼き物なら照焼きや味噌漬がよいでしょう。関西ではあまり人気がなく、値段がつかず今では入荷も少なくなりました。漁場の高知ではすり身にしてかまぼこの材料にするなど有効利用が模索されています。その一方でハワイではマヒマヒとってシイラのムニエルは高級料理です。外国の冷凍切身をほとんど受け入れる日本。シイラを通じて国産品のおいしさとありがたさを意識してほしいものです。



～シイラ～

Part2 都夢ちゃんの一とり言



「日本にカジノ？」

日本にカジノができる？そんなことがわかに現実味を帯びてきた。国会でカジノ法案(IRR推進法案)が審議入りし、秋以降の成立が視野に入ってきたからだ。

かつて石原元東京都知事がカジノ構想をぶち上げ、今また橋下大阪市長が夢洲への誘致を狙っている。カジノができれば地域経済が潤うと彼らは言うが、儲かるのは一体誰なのか。

確かにカジノ目当てに海外からの客が増え、なにがしかの金銭が地域にもたらされるだろう。だが、カジノは統合型リゾート施設として限られた区域内に作られる。そしてそれを牛耳るのは海外企業に違いない。結局グローバル企業の食いにされるだけで、地域経済が活性化するなんて夢のまた夢だ。

だいたいカジノが賭博であることを無視していないか。もともと賭博行為は日本の法律で禁止されているし、社会問題化しているギャンブル依存症だってある。マネーロンダリングへの悪用も懸念される。

ある国のカジノの周辺には、有り金を使い果たした人たちのために質屋がひしめき、あげくに生活破綻者が続出とか。経済活性化にカジノだなんて、それ自体が金と人をとってんびんに掛けたギャンブルだ。